

適正な学校規模により、豊かな笹川の教育をすすめます

笹川の教育 1

キャリア形成

連携型一貫教育により 社会で通用する「生きる力」を育む

自らキャリアを形成していく力の育成

統合して1小1中となることで、笹川地区の保幼小中の連携をより一層深めます。それぞれの育ちの段階で身に付ける力が、将来、社会で通用する「生きる力」へとつながるよう、11年間の一貫した教育により、笹川っ子のキャリア形成を促します。



キャリア・職業教育

- ◆ 幼・保 ◆ 人間関係の基盤を形成
- ◆ 小学校 ◆ 地域への社会参画力の育成
◆ 笹川地域活動 → 自発的・自主的な参加 → 自己有用感の醸成
- ◆ 中学校 ◆ 進路の自己決定
◆ 職業観・勤労観の確立
◆ 笹川地域活動 → 自ら企画し、実践する

西笹川中学校は、平成28年度に第10回キャリア教育優良学校として表彰されました。(文部科学大臣表彰)



笹川に学び 笹川を愛し 笹川とともに歩む子

笹川の教育 2

英語教育

英語を強みに！ グローバル化する社会で 力強く生きる「笹川っ子」を育てる

笹川の環境を生かして英語コミュニケーション力を育成

日常から多くの外国人の子どもたちとともに学校生活を送る笹川地区では、異文化理解に優れ、表情やジェスチャーなどのコミュニケーション能力が自然に身に付いています。その強みを生かし、発達段階に応じた学習プログラムを通して、グローバル化する社会に出ても通用する英語コミュニケーション力を育みます。



西笹川中学校区は、四日市市で初めて英語教育推進校区の指定を受けました。西笹川中学校の生徒は、英語スピーチコンテストで入賞するなど、得意な英語を生かして活躍の場を広げています。また、平成31年2月には、四日市で小学校英語教育の全国大会が開かれ、笹川東小学校は英語指導についての発表を行います。

笹川の教育 3

学力向上

教科指導と日本語指導を統合して すべての子どもの学力を向上させる

すべての子どもたちの「学ぶ力」を育む

「JSLカリキュラム※」を活用して、やさしい日本語、具体的な指示や発問、視覚的な支援、学習用語を使う活動等を取り入れた授業づくりをすすめます。

この授業により、外国につながる子どもたちだけでなく、すべての子どもたちに各教科の指導内容の確実な定着を図り、「学ぶ力」を育みます。



※JSLカリキュラム … 授業を受けながら教科の学習用語などの日本語も習得していく手法



笹川東小・笹川西小とも、「独立行政法人教職員支援機構 平成30年度日本語指導指導者養成研修」の実践先進校として全国から多くの先生が視察に来ました。

「学び合い」と少人数指導による学力向上

両小学校が取り組んできた「学び合い」と少人数指導。統合して、より多くのなかまと協働して学ぶことで、新しい考えや方法に気づくことができ、子どもたちの深い学びにつながります。また、両小学校が研究してきた少人数指導では、習熟度別など多様なクラス分けによる、きめ細かい指導が実現します。

多文化共生の環境で 豊かな国際感覚を育む

多様な文化に触れる環境で国際感覚あふれる笹川っ子を育む

多様な文化や生活習慣を持つ仲間が、同じ小・中学校で9年間を過ごすことは笹川地区の強みです。共に学ぶ中で、様々な個性や意見に触れ合い、社会性やコミュニケーション力が高まります。自分が住むまち「笹川」に愛着と誇りを持ち、国際感覚あふれる笹川っ子を育みます。

笹川の教育 4

多文化共生



